

教 員 氏 名	寺 田 恭 子	職 位	教授
最 終 学 歴	広島大学大学院総合科学研究科博士課程後期		
学 位	博士（学術）		
役 職		委員会	FD 委員会 紀要編集委員 ゼミ委員会 実習委員会
担 当 科 目	幼児体育 A B 幼児と健康(国際教養こども学科・保育学科) 保育内容指導法（健康）（教育保育学科） チームビルディング実践 総合演習 A B 卒業研究 I・II 福祉スポーツ（現代教養学科） スポーツ健康論(保育学部 学芸学部 国際学部)		
教科書・教材・教育 方法の実践例	1. チームビルディングでは、様々な問題を解決するための方法をチームで考え視覚化するアクティブラーニングを積極的に取り入れている。 2. 福祉スポーツでは、当事者を講師として招き、アダプテッドスポーツを学生が当事者と共に体験する。 3. スポーツ健康論では、様々な事例や最新情報を YouTube で視聴させ、ディスカッションを行って新たな気づきの発見からより深い学びと行動変容につなげていく。外部講師の講演とディスカッションも実施している。 4. 幼児と健康ではリアルな動画の導入で視覚的にも理解しやすい PP を使用している。 5. 保育内容指導法（健康）は、ITC を使い模擬保育実践中の運動量測定も実施している。 6. 幼児体育 AB では授業中のメモ帳を活用し、授業後はそれらを参考に体育ノートを作成している。 7. 総合演習 AB では、フィールドワークを中心に研究方法の学びに加えて共同実践力を養っている。 8. 卒業研究では、探求する力と問題に取り組み続ける体力をつけさせるため、個別指導で個々に適した対応を実践している。		
教育研究業績	1. Living Conditions of Children with Disabilities in Rural Thailand: Factors Leading to Life Change through Interventions Yukiko Kumazawa, Kyoko Terada, Ayako Satonaka, Michio Wachi, Noriyuki Kida Social Sciences 13(10) 525-525 2024 年 9 月 30 日 2. タイの地方に暮らす二分脊椎児に対する就学に向けた評価とアプローチ 和智 道生, 里中 綾子, 熊澤 友紀子, 寺田 恭子 保健医療技術学部論集 (18) 19-25 2024 年 3 月 3. タイ障がい児のモビリティと QOL 改善に向けて—継続的支援における課題— 熊澤湯友紀子 寺田恭子 桜花学園大学保育学部紀要第 27 号 pp55-69 2023 年 3 月 15 日 4. Women grip strengths and lifetime experiences of low back pain were not influenced by the frequency of lifting family members with severe cerebral palsy rated to GMFCS level IV and V SUZUKI Nobuharu, Terada K, Satonaka A Gazzetta Medica Italiana 182 544-551 2023 年 5. 障がい児のモビリティと QOL 改善に向けた国際協力の実践 熊澤友紀子 寺田恭子 桜花学園大学保育学部紀要第 26 号 pp81-96 2022 年 11 月 30 日		

	6. 「障がい児者への支援—日本・タイ・インドネシアをつなげる車いすダンスの取り組み—」 桜花学園大学保育学部研究紀要 第25号 pp155-171 2022年3月15日 7. Grip strength of family caregivers of people with severe cerebral palsy rated to GMFCS level IV and V. Suzuki N, Terada K, Satonaka A. Gazzetta Medica Italiana in2021 8. 「新型コロナウイルス 感染拡大によるサークル活動自粛の影響—車いすダンスサークルメンバーを中心に—」日本障がい者スポーツ研究会研究紀要第44号 pp22-23 2021年3月1日 9. 『障がいのある人のスポーツ指導教本（初級・中級編）』（公財） 日本障がい者スポーツ協会編 ぎょうせい 2020年3月 10. 「コロナ禍における幼児体育の学びを考える—遊びの工夫を通して気づいたこと—」 桜花学園大学保育学部紀要第23号 pp115-132 2021年3月 11. Nutritional aspects of a year-long wheelchair dance intervention in bedridden individuals with severe athetospastic cerebral palsy rated to GMFCS level V (Author Kyoko TERADA) Gazzetta Medica Italiana Archivio per le Scienze Mediche 2018 July-August:177(7-8):360-6 2018 12. 「アジアの子どもたちへの車いすダンスの普及および継続方法に関する研究2」 桜花学園大学保育学部研究紀要 第22号 pp63-76 2020年11月30 13. Training effects of wheelchair dance on aerobic fitness in bedridden individuals with severe athetospastic cerebral palsy rated to GMFCS level V. EUROPEAN JOURNAL OF PHYSICAL AND REHABILITATION MEDICINE. (Author Kyoko TERADA) 14. Women grip strengths and lifetime experiences of low back pain were not influenced by the frequency of lifting family members with severe cerebral palsy rated to GMFCS level IV and V SUZUKI Nobuharu, Terada K, Satonaka A Gazzetta Medica Italiana 182 544-551 2023 15. 寺田恭子他 タイ東北地方における障害児と身体活動の実態 桜花学園大学保育学部紀要第28号 11月30日 16. タイの地方に暮らす二分脊椎児に対する就学に向けた評価とアプローチ 和智道生, 里中綾子, 熊澤友紀子, 寺田恭子 佛教大学保健医療技術学部論集 第18号 PP19-25 2024年3月1日 その他多数
所属学会	日本アダプテッド・スポーツ学会 (JASAPE) 一般社団法人 日本体育・スポーツ・健康学会 (代議員 アダプテッド専門領域理事) 日本障がい者体育・スポーツ研究会 日本障がい者スポーツ学会 一般社団法人 日本体力医学会